

御嵩町水道事業経営戦略の改定(案)に関するパブリックコメント実施結果

- 1 実施期間 令和8年2月6日(金)～2月25日(水)
- 2 意見提出件数 2件(1人)
- 3 提出された意見と町の考え方

番号	意見	回答
1	<p>・施設整備への投資 管路全体の更新に要する費用は、約340億円と書いてあります。 その内今後20年以内に法定耐用年数を迎える管路が約78%、 ということは、今後20年で340億円×0.78=265億円となります。 一方投資計画では、今後16年で年約3.8億円を投資、以降6.6億円を 投資するとあります。 ということは、3.8億円×16年+それ以降6.6億円×4年=約87億円 必要とする費用265億円と実際に投資する額87億円に差異がありま す。 使える費用には限界があるので、87億円/265億円=約33%位につい て優先順位をつけて対応するということでしょうか？</p>	<p>ご意見のとおり、今後20年以内に法定耐用年数(40年)を迎える管路 は約78%となります。 本経営戦略では、令和23年度までは施設更新などを優先し、令和24年 度以降に管路更新を法定耐用年数の1.5倍(60年)の周期で実施する計 画としています。なお、15ページの投資額は、管路の更新以外の金額も 含んでいます。 いずれにしても、膨大な投資が必要となることから、優先順位をつけて 投資を行う計画としています。</p>
2	<p>・健全経営に向けた取り組み シミュレーションの条件が、資金残高4億円を確保するとなっています。 これは、上記の管路更新の投資金額も含めてという前提でしょうか？</p> <p>値上げ率が高ければ、企業債の増加も押さえられ、料金回収率も100% を維持できます。料金のアップは避けられないとは思いますが、時期、 アップ率の検討、事前の説明などを十分に行うよう配慮願います。</p> <p>また、水道事業はどの市町村でも行っており、同じような問題を抱えて いるはずですが、それらの事例調査、比較、開示なども行うようお願いしま す。</p>	<p>資金残高4億円の維持は、災害発生時など非常時対応に備え、現在の水 道事業収益の約1年分程度で設定しており、管路更新などの投資を実施 することも含めた資金残高です。</p> <p>人口減少などの社会情勢から料金改定は避けられないと考えておりま すが、時期や改定率について今後検証してまいります。また、実施する際 には、事前の周知や丁寧な説明などを実施してまいります。</p> <p>全国的に、水道事業は人口減少等による収入の減、物価上昇による維持 管理費の増、老朽化した管路(更新)などについて同様の問題を抱えて いますので、事例も調査し参考にしつつ、本町水道事業の経営の健全化 に向けた取組を実施してまいります。</p>